

シリーズ

埼玉の隠れた銘品百選

(25)

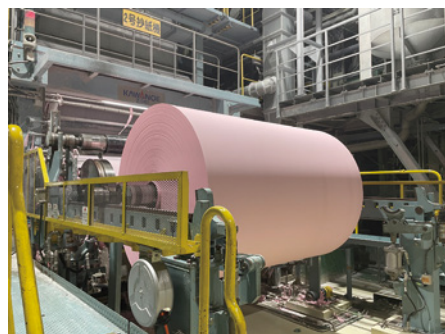
フルーツカラー (鶴見製紙株式会社)



再生紙100%のトイレットペーパー。再生紙というと、硬くてごわごわしたイメージを持つ方がいるかも知れないが、このフルーツカラーは、驚くほどふんわりした、柔らかな肌触りだ。その秘密は、微細なマイクロエンボス加工、クレープ（しわ）を付けた原紙など、当社が得意とする製法にある。

当社が「機密処理溶解システム」を導入したことで、未開封のまま溶解処理することが可能となった。これによって、オフィスなどから排出され、かつては焼却処理されていた機密文書も、再生紙の原料として活用している。リサイクル化の輪を広げることで、脱炭素に向けた取り組みが世の中にも分かり易く伝わってくる。

色は、ミックスベリー（ピンク）、ブルーベリー（青）、トロピカルフルーツ（緑）の3種類。トイレが色づくだけでなく、ほのかなフルーツの香りにも包まれる逸品である。



■ 鶴見製紙 株式会社

- 1922年 創業（静岡県富士市で里和抄紙部設立）
- 1945年 鶴見製紙株式会社を設立（横浜市鶴見区）、黒ちり紙の生産開始
- 1957年 鳩ヶ谷工場新設（1966年 鳩ヶ谷工場を本社工場に）
- 2000年 機密資源の受入を開始
（2004年 業界初となる動画による溶解証明書サービスを開始）

代表取締役社長 里和永一

〒334-0013 川口市南鳩ヶ谷8丁目1番10号

TEL 048-283-3620 <https://tsurumipaper.co.jp/>

（武蔵野銀行 鳩ヶ谷支店取引先）